二月二十日の總選擧を、婦人の力で明い公正な選擧たらしめよ！

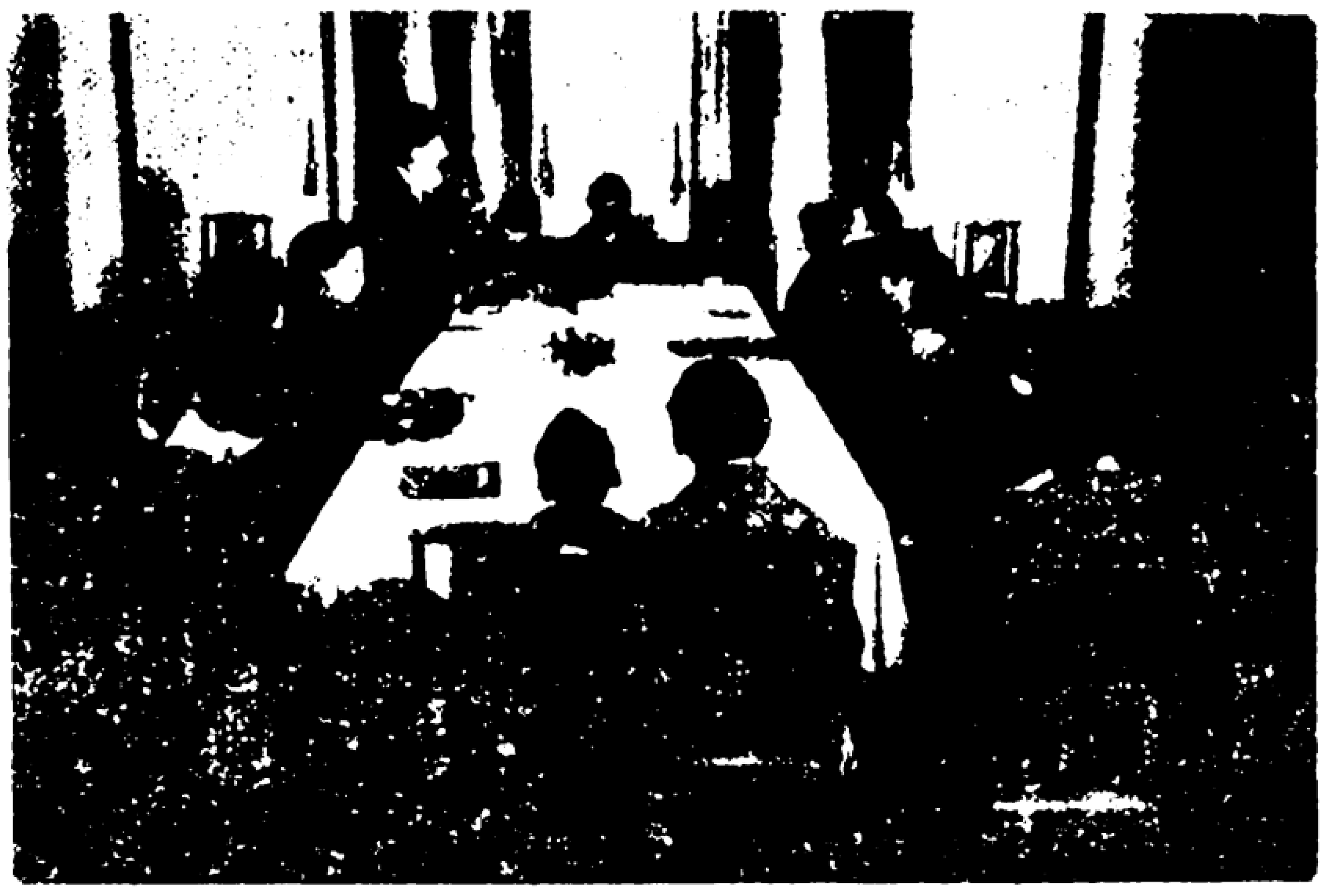
婦選獲得同盟會報（十）

選擧革正運動について

會計理事　坂本眞琴

◇

細々しくもやゝこしい取締規則の下に於て、選擧運動は現に展開されて居ります。一方棄權防止、犯罪防止に内務當局は、大宣傳を始めて居ります。この際、まだ一票の權利のない婦人として、どんな働きに就くべきでありませうか。應援演說は、取締法中の所謂選擧運動と見ないので、特種少數の婦人は、或は自己理想の候補の爲めに、或は婦人參政權の絶對支持者の爲めに、或は又依賴を受けた候補の爲めに、應援演說に出て居ります。ところが、それは、極く少數の人々丈の話でありまして、そんな事以上に、私達婦人が、このなすべき働きがない筈はありませんゝ私はその働きの種類の二三を極く手近の實際的の所から述べて見たいと考へます。この私が申上やうとする働きは勿論定まつた候補者を個人的に應援し、その當選を助けると云ふ樣な種類のものではありません　一國の選擧が正しく明るく行はれる爲めに力を致す爲めの働きです。で、私は假にこの働きに超選擧運動の運動と名づけます。では何をかさう云ふのでせうか



一月二十六日午后一時より大阪ビル内レインボーに於て開催したる全國婦人團體代表者選擧革正協議會。立てるは當日特に出席講演された内務次官齋藤隆夫氏

◇

婦選獲得同盟では、所定の機關の議決によつて、一切個人應援をしない事に決定し、目下在來の關係上、情に於て尚に忍びがたいものをも一切拒絶して居ります。さうして聲明書にもある通り、買收棄權防止の運動（選擧淨化運動）を全國的に試みようとしてゐます。何黨へとも、何者へとも云はず、只單に買收に應ずる、それは自分が立つてゐる足下の土を掘る事だ、と叫び、棄權は共同生活國家生活への反逆だと云ふ事を、一人でも多くの選擧民に傳へたいと云ふのであります。

ところがこの事は理由は明瞭、企の可なる事も明瞭でありますが、肝要な一人でも多くの選擧民に有効にそれを傳へる事」は非常な難事であります。團體としての組織的な事は目下着々として、進行をしては居りますが、この難事を私は婦人を通し婦人の熱で、出來る限り廣く有効になし遂げたい希望で居ります。で私は皆樣が、その所にあつて、この企の一員となつて頂いて、力を合せて頂き度いと思ひます。それならばどんな事をしたらよいか、以下、ごく手近の誰にでも出來る事柄を簡單にのべて見ませう。

◇

誰に投票するか、したか？と云ふ問は許されませぬが、「投票の準備が出來ましたか」ならば、實に立派な問です。配達される宣言書の熟讀をすゝめ、演說會への出席に誘ひ候補者の人物研究の材料を集めて、身近な有權者に提示すると云ふ事なら誰にでも出來ます。さうしてもしそれ等の勸告を拒否し反問する者がありましたならば、その時こそ眞劍な態度で、選擧の主體、明るい政治、生活の安定等について、どこ迄も說き進むべき絕好の機會です。この種の働きを、多くの婦人がいきり立つて試みてくれますならば、怠慢なる男子に、實によき刺戟を與へると思ひます。

棄權の防止は、決して、投票日の朝になつてから、投票所に赴く事を勸告することではありません。それは、極く小さい役割です。眞の棄權防止運動は、事前に候補者研究の勸告でなくてはなりません。心の準備の完成でなくてはなりません。

◇

色々研究してみたが、何れをみても五十歩百歩、理想はさておいて、それに近いのさへないから、斷然止むなく棄權すると云ふ樣な場合は其申出の根據理由に一先づ贊意を表して、最善なくば次善、次善なくば三善、それもなかつたらば、所屬黨派の政策、と云ふ風に考へてゆくべきだと思ひます。そこ迄行けば、大ていの選擧區にかなり澤山の候補者が立つ事ですから必ず一人位の人は見當る事と思ひます。しかしこの場合の事を考へて見ますと、現行選擧法中の候補屆出なき者への投票無効とか、選擧運動期間を三十日と限定した點等を大に批判したくなります。現在の選擧法は、婦人を拒否すると云ふ缺點の外、また／＼各部々々に改正せねばならぬものゝ多くをふくんでゐると思ひます。

◇

皆樣！我が同盟は、已に準備のなるのを待つてやがてその各地で選擧淨化の運動を起して居ります。どうぞ諸姉も、捨せず、眞劍にその立場々々にあつて、其日／＼の御仕事につとめ乍ら、この超選擧運動を助けて下さい。婦人が選擧に眞劍である事を示すのは、婦人參政權の全般的の獲得の爲めにも、實に力强い背景となります。

リーフレット

「總選擧に婦人は何をなすべきか」が澤山出來て居ります。御希望の方には御申越次第無代でお送りいたします。どうぞあらゆる集會を利用して一人でも多くの方に手渡しして下さいますやうに。

◇選擧革正遊說日割◇

▼別府　七日午后一時及九日夜聯合婦人會主催　坂本、金子、河崎
▼熊本　八日午后一時、同市公會堂、婦人問題研究會主催、縣聯合婦人會後援　坂本、河崎、金子
▼廣島　十日夜廣島婦人ホーム主催　金子
▼神戸　十一日午后一時、聯合婦人會主催座談會　坂本、河崎、金子、
▼德島　十三日午后及夜、德島聯合婦人會及德島每日新聞社主催　坂本、金子、新妻
▼福知山　十五日夜、時事問題研究會主催　坂本、金子
▼新舞鶴　十六日午后及夜（同上）　坂本、金子、新妻
▼京都　十七日夜京都女子青年會主催　坂本、金子
▼松本　十八日午后七時　坂本、金子
▼金澤　九日午后一時同市公會堂、支部主催　市川、竹内
▼新潟　十日午后七時、支部主催　市川、久布白
▼長岡　十一日午后及夜　市川
▼名古屋　十三日午后六時、新女性社主催　市川
▼柏崎　十五日午后二時、新潟支部主催　市川、藤田
▼前橋　十六日午后一時上毛新聞社主催　市川、河崎、藤田

右のやうに各方面から豫想外の御聲援を得て、多數の演說會が成立しました。どうかそれ／＼開催地方の會員の方々は、出來るだけの御援助を賜りたく、幹部員にも一々御會見の折をお作り下さるやう切望いたします。

◇東京のもより會◇

▼二月十三日（木）　午后六時より、小石川區大塚仲町四一伊藤錦子氏方　小石川、本鄕、下谷、神田方面（第二區）
▼二月十四日（金）　午后一時より、淺草區千束町二ノ三三前島ふく氏方　本所、深川、淺草、日本橋、京橋方面（第三、四區）
▼二月十五日（土）　午后六時より、淀橋角筈婦女新聞社にて　澁谷、大久保、柏木、高田、戸塚方面（第七區）
▼二月十六日（日）　午后一時より、西巣鴨宮仲二二五二市川藤市氏方　巣鴨、池袋、大塚、瀧野川、綠井戸方面（第六區）
▼二月十七日（月）　午后六時より、麹町四ノ五本會事務所にて　麹町、四谷、牛込、赤坂、麻布、芝（第一區）

從來も度々催しましたもより會を、此際大體選擧區別に開いてみる事にしました。但しどの會合にでも御自由に御出席下さい。會費は何處も金十錢（茶菓代）選擧を中心に種々御懇談いたしませう。どうか一人でも多くのお集りが願ひたいと存じます。

◇選擧革正運動報告會◇

選擧がすんでから、地方遊說、もより會、其他の運動についての報告會を左の通り開きます。苦心談、失敗談等色々あることゝ思ひますから出來るだけ多數御出席下さい。

▼期日　二月二十二日午後一時より
▼會場　麹町區内幸町大阪ビルレインボーにて

總選擧への婦人の參加は、婦選の實現を促進する！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中央委員會報告

第十八回中央委員會

一月十日(金)午後六時より市川宅にて夕食後開會
出席—久布白、齋原、渡邊、藤間、大橋、市川、金子、千本木、武田
欠席—河崎、藤田、坂本、山本、田中

一、報告
1 十二月の會計報告
2 その後の特別維持會員の報告
3 議會運動委員會報告
二十六日に民、政、各派より提出

二、協議
1 一月の資金募集の件
2 東京聯合婦人會本年度代表委員の件
大橋、金子に決定
3 總選擧對策の件
選擧革正運動に主力を注ぎ應援演説をしないことに決定

第十九回臨時中央委員會

一月十三日(月)午後六時半より
出席—久布白、千本木、藤田、坂本、市川、齋原、
欠席—大橋、河崎、武田、田中、山本、藤間、金子

一、協議
1 總選擧對策の件
懸案になつてゐた推薦狀の發送もしないことに決定
解明書の起草を金子、市川に一任解散當日發表すること
2 選擧革正運動の具體案並にこれが費用について協議す

第二十回臨時中央委員會

一月二十日(月)午後六時半より
出席—久布白、市川、坂本、齋原、大橋、河崎、藤田、千本木
欠席—渡邊、藤間、金子、武田、田中、山本、

一、協議
1 全國的婦人團體協議會開催の件
廿五日午後一時より大阪ビルにて開催、役割の分擔をなす
2 ラヂオの件、
大濱氏を通じて申込むこと
3 印刷物の件
四六倍判にて約五萬枚印刷する
原文金子氏一任
4 地方革正演説會の件
5 革正運動費の豫算左の如く大體決定

地方旅費	五〇〇圓
東京運動費	一〇〇圓
印刷費	一〇〇圓
立候補者問合	五〇圓
通信雜費	五〇圓
合計	八〇〇圓

右の中會員一般より約百五十圓その他は特別寄附によること

第二十一回臨時中央委員會

一月二十一日(火)午後六時半より
出席—久布白、坂本、大橋、齋原、千本木、武田、金子、河崎、市川、竹内(傍聽)
欠席—渡邊、藤間、山本、田中、藤田

一、報告
本日の議會解散の狀況を坂本、齋原、大橋、市川より報告した。

二、協議
1 全國的婦人團體代表者協議會の件
2 地方革正演説會の件
3 革正運動の事務分擔
東京の運動　市川
地方遊説　金子、河崎
會計　坂本、大橋、兒玉

第二十二回臨時中央委員會

一月三十一日(金)午後七時より
出席—久布白、市川、金子、坂本、大橋、河崎、藤間
欠席—渡邊(事)、武田(事)、齋原(無屆)、田中(事)、山本(事)、藤田(無屆)、千本木(事)

一、報告
1 日記—一月一日—一月三十一日
2 通信—發信一一三八(十二月二十日—一月三十一日) 受信五七七(同上)
3 一月分會計報告
4 ロンドン本部より國籍問題に關する來信があつたが、これは國際聯絡委員會に附託したこと、
5 東京聯合婦人會報告—二月八日總會開會されること
6 政治教育委員會報告—讀書會は四月迄延期したこと

二、協議
1 聯合婦人會への出席者の件
齋原、大橋二氏に依頼すること
五分間演説は齋原氏がすること
2 地方革正演説會の件
其後の交渉經過の報告あつて後出演者について協議す
3 東京最より會の件
「總選擧と婦人の問題」を中心に市内外五ケ所にて最寄り會を開催し、在京中央委員會が責任を持つこと
4 革正運動費の件
會員から募集の分は往復はがきとすること
この爲の特別寄附は河崎、大橋市川にて心配すること

會費と誌代について

去年の一月及び二月に御入會の方々の會費が切れましたから、本月中にお拂込み頂きたう存じます。
又雜誌「婦選」は宣傳の爲十一月號より毎月御送り申上げて居りますがまだ購讀申込も、中止の意志表示もして下さらぬ方が多數である爲、整理に困つて居ります故、これ亦何卒出來るだけ御購讀いたゞきたく、會費も誌代も振替を御利用いたゞきたく存じます。

一月會計報告

會計理事　坂本眞琴

▼收入の部　七五六、六〇

内譯	
繰越	〇、九〇
正會員費	四一、〇〇
會友費	一、〇〇
維持費	六〇、〇〇
寄附金	六五三、七〇

▼支出の部　七〇五、九七

内譯	
俸給、手當	二一二、〇〇
返濟金	一三〇、〇〇
家賃	四二、〇〇
光熱	三、四九
文房具	一一、五六
通信	二八、一二
電話	四三、七四
交通	二、四五
雜(臨時)	二七、八〇
議會	一四、六二
政教	七八、九六
會員	〇、五八
財務	一九、五〇
出版	五〇、〇〇
調査	四、六五
會報	三〇、〇〇
印刷	五、五〇
備品	一、〇〇

▼差引殘高　五〇、六三

▼寄附金内譯

宮田義忠氏	一〇〇、〇〇
前島ふく氏(特別寄附)	一〇〇、〇〇
小坂順造氏(同上)	一〇〇、〇〇
石川武美氏	一〇〇、〇〇
ミス、クレイド	一〇〇、〇〇
星野錫氏(特別寄附)	五〇、〇〇
市川房枝氏(給仕事務員手當)	五〇、〇〇
林歌子氏(特別寄附一回分)	二五、〇〇
藤井まつ子氏(同上一月分)	一〇、〇〇
黒河香代氏	一〇、三〇
金子茂氏	八、四〇

▼返濟金内譯

出版委員會へ	五〇、〇〇
金子氏へ	五〇、〇〇
市川氏へ	三〇、〇〇

今月は別項財務委員長報告の通りに、募金成績よく特別寄附の拂込及び寄附が、澤山發られましたので、珍らしく借入(立替)がなして、その上に返濟も相當にする事が出來ました。
支出の内收款の多いのは、選擧革正運動をこの中に繰り込んだからで、一月中に已にこの運動費をこれだけ支出して、猶五十圓を二月に繰越す事が出來た事は、本當に喜ばしい事でございます。
然し二月は、革正運動の爲に募金の方も手が十分に廻りかねませうし支出の方は大にこの方面に必要とされませうから、早速また苦しい狀態になると思ひます。
一月號で申上げた會費のお拂込もぼつ〳〵參りますし、革正運動の寄金も大分入つて來るやうですが何分皆さまの御力添が願はしう存じます

新入會者

一月分合計　三八名

正會員—三二名
磯崎ユキ(直接) 中西千代、永田よね(八木恭子紹介) 前田たま(堀場雪子紹介) 平田のぶ、中津房子、萩野枝子、舘森恒子、竹内て津子、山田夏代、宇田ほ乃、村木富美子、藤澤千代子、堀田すて、田中以代子、打越敏子、三好豊子、阿部淑子、高橋英子、阿南勝子、大熊くに子、金井シヅ、藤井喜美子、蒲田喜代江(市川房枝紹介) 美島英子(美島近一郎紹介) 水野邦子(直接) 篠田通子、永山八重子(山下恒子紹介)中村壽滿子(直接) 横諸千代子、青木香夫(兒玉勝子紹介) 松原定子、(金井シヅ紹介)

維持會員—三名
小口みち子、鶴見濟子(大橋豐宮紹介) 山田朝子(市川房枝紹介)

維持會友—一名
石井文雄(直接)

會友—二名
石坂繁(山下恒子紹介)鶴見五郎(直接)

退會者—四名

累計　一〇七〇名
正會員—八一二名
維持會員—一〇九名
會友—一一九名
維持會友—三〇名

お願ひしたいこと

振替の御送金は必ず裏に金額の說明をつけて下さいます樣に。
轉居通知には必ず舊住所も
事務上の通信にはお忘れなく「何縣」の「會員」或は「會友」「購讀者」等をお入れ下さいませんか。
誌代をお送り下さる時は「繼續」か「新」しく御申込かお斷り下さい。
それ等の一寸した事で、八冊千何十名の名簿を片端から引くり返して探し出す大變なむだを省く事が出來ます故。

一月の日誌

六日(月)事務所を開く。午後市川氏宅に職員新年會及出版委員會新年會兼編輯會議開催
八日(水)市川氏宅に委員長會議開催
九日(木)市川氏病氣の爲讀書會中止
十日(金)市川氏宅に中央委員會開催
十三日(月)臨時中央委員會開催
十七日(金)市川、坂本、大橋の諸氏資金調達のため奔走
十八日(土)赤坂ポントンに選擧革正と婦人の座談會開催
二十日(月)臨時中央委員會開催
廿一日(火)議會再會日、市川、齋原、坂本、大橋の四氏傍聽午後四時四十分議會解散。各新聞社へ解明書發送 夜臨時中央委員會開催
廿二日(水)市川氏聯枝會へ出席
廿三日(木)金子氏病體をおして雜誌編輯に沒頭す
廿四日(金)前代議士宛解明書及選擧革正に關する印刷物發送 市川氏大森幼稚園母の會へ講演に赴く
廿六日(日)大阪ビルレインボーに選擧革正座談會開催
廿八日(火)會報發送に大多忙。出校正、市川氏女子青年會で講演
廿九日(水)革正演説會の爲地方との聯絡に大多忙。出校正
卅日(木)出校正
卅一日(金)會友大谷氏より南國の珍らしい花エリカを頂く 中央委員會開催

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

選擧革正運動

―本會の第二次普選總選擧に對する活動―

本會の第二次普選總選擧に對する活動は、一月二十五日發行號外で報道した聲明並に對策に從つて着々と進められてゐる。

解散直前に開かれた「婦人と選擧革正座談會」を初めとして「選擧革正婦人團體懇談會」の開催、全國婦人團體への働きかけ「前代議士への書面」「立候補者全部への問合せ」「選擧革正地方演說會」「東京最寄り會」「リーフレットの印刷」等次々に行はれてゐるし、それ等の運動に要する費用も今日迄に已にその半を集め得た以下それ等についての大要を報告することゝする。

◇「選擧の革正と婦人」座談會

解散前の一月十八日夜、赤坂のボントンで開かれた。出席者は、東京朝日新聞社專務下村宏氏、東京日々新聞花園兼定氏、內務省地方局長坂千秋氏、外務省政務次官永井柳太郎氏、社會民衆黨書記長片山哲氏の五氏に中央委員十一名で、晩餐を共にしたる後、選擧革正について諸氏から意見の開陳があり、本會の運動について幾多のサゼツションを得ることが出來た。當夜の大體は「婦選」二月號に掲載されてゐるから參照されたい。

◇選擧革正婦人團體懇談會

一月廿六日の日曜の午后一時半から大阪ビル集會室に於て開催された。

革正運動をして全國的な運動たらしめるための一方法として計畫し、東京に本部を有する全國的婦人團體十五團體に招待狀を發したが、當日代表者の出席したのはキリスト教女子青年會日本同盟、キリスト教婦人矯風會、全國小學校女教員會、女子醫學專門學校同窓會至誠會、日本女子大學同窓會櫻楓會の五團體であつた。

坂本眞琴氏の司會で開會され、久布白落實氏の挨拶の後、當日特に出席された內務政務次官齋藤隆夫氏から選擧界の實狀、並に之が革正の必要についての有益な講演があつた。氏はその最後に、婦人が革正運動に立つたことを喜ぶ旨繰り返して語られた。

質問應答があつた後更に市川房枝氏から本會が第一回普選總選擧及市會選擧に於て行つた革正運動並に此度の運動に就ての具體的方法について述べ、各團體代表者の意見の陳述に移つた。當日團體として意見を持ち寄ることは無論不可能であつたらうが、その代表者の個人的意見なるものも極めて消極的で、少なからず失望させられた。

然し兎に角本會の希望をそれぐ〲各團體に傳達を乞ひ、適當な方法をとられるやう切望して六時會を閉じた。

右會合後女子青年會日本同盟からは總幹事がわざく〲事務所を訪問され、此際選擧に關する講演だけでも各地方支部で行ふやうしたいから援助を乞ふとの申出があつた。

運動費を募る

一口五十錢

(何いでもよろし)

小爲替か振替東京(七〇三八三)にて

…會を愛し、運動支持する會員に訴ふ‼…

此度の革正運動のためには、地方出張も大体、會でその費用を負擔する豫定であるため、運動費として、會合費、印刷費旅費、通信費等に約八百圓を要します。これは特別會計に屬するもので、從つて特別寄附によらなければならないので、會員一名少くとも一口宛の御寄附いただけば充分支辨出來ます。

…全會員の力で運動を達成せしめよ‼…

◇地方婦人團体への書面發送

本會は各婦人團體への働きかけを前の會合だけで滿足せず、女子青年團、至誠會、日本女醫會、櫻蔭會、矯風會、女子青年會、その他各都市聯合婦人會三百餘團體に對し左の趣旨の書面を發送すると同時に印刷物も發送した。

その目的が種々御座いませうから、尤も團體によつて選擧の革正、婦人の政治教育等に全力をあげて御活動になることは出來ますまいが、左の諸項の中、一部分でも貴團體で、此際御とりあげ下されば、誠に幸甚に存じます。

一、總選擧や婦人參政權に關する講演を會員又は一般婦人にきかせる機會をつくること

二、選擧區の各政派の立候補者を招いて婦人問題等に關する政見をきく催しをすること

三、選擧革正のための印刷物、ポスターを作つたりして明るい選擧の行はれるやうつとめること

一、選擧區の候補者に對して婦人參政權を初め、禁酒、廢娼等についての賛否の意見を問合はせ、その結果を會員に知らせること

リーフレットは希望によつて贈呈する旨記載しておいた所、今日迄に已に數ケ所から、何百枚、何千枚の申込みが來てゐる。

◇立候補者への問合せ

解散直後先づ前代議士に對し、本會の希望を申送つた事は號外にしるしたが、本會は更に全立候補者八百餘名に對し左の三項の問合を往復はがきで發送した。

一、貴下の立候補宣言に婦人參政權が這入つて居りますか？

二、貴下は政見發表の際婦人參政權に言及して居られますか？

三、御當選の上は婦人に結社權、公民權及參政權を與ふる改正法律案の提出者若くは賛成者として御署名になりますか？

立候補者の住所を知る事が可成困難であつたが、八木橋、兒玉、野津氏等の努力によつて發送し得た。これが回答は已に多數來てゐるが次號でまとめて報告する豫定である。

◇革正地方講演會

革正地方講演會は意外に希望個所が多く、今日迄に第一頁に掲載しただけ決定し、金子、坂本、河崎の三氏は已に五日、六日に東京を出發した。坂本氏は夫君並に幼い子供さんを殘して、金子氏は病中の母堂を殘しての旅行で、兩氏とも十九日にならなければ歸京出來ない。市川竹內、久布白の三氏も八日東京を出發北陸に向つた。

◇東京最寄り會開催

東京在留中央委員會を責任者として、東京會員の最寄り會が計劃された。これは第一頁掲載の通り、選擧を主題として選擧區別に行ふのであるから、出席者にとつては極めて興味があることゝ思ふ。進んで出席されんことを望む。質問に對してはそれぐ〲中央委員から答へる筈である

◇リーフレットの印刷

森鐵氏の繪を入れて「總選擧に婦人は何をなすべきか」のリーフレットを約五萬部印刷した。地方演說會の各婦人團體へ送附してゐるが、希望の向には何部でも送附するから申込まれた。五萬部で足らなければ更に刷り增す用意は出來てゐる。

◇集つた革正運動資金

總計　九十四圓六十錢

北村潔子、佐藤國枝(各一口)山崎よね、金井シヅ、丹下ヨシエ、大谷英一、嶺キク、沼澤孝、中條きん、城殿きよ、內池よね、南條ひさい、島濃さい、千本木みち、樹見五郎、佐藤耐子、水口糸、藤原智孫、山本孝、井上たみ、井上はま子、小山タキ、百瀨ゑい、村松とし、河原田雪枝、渡邊登女(以上各二口)松原定子、吉岡房子(各三口)茂木ヒイ(三口と十錢)大內光枝、兒玉禮子(各四口)宇田ほ乃、近藤乾郎(各五口)三谷民子、篠田せい子(各六口)杉浦サダ、武田睦子、永井次代、金子敏子(各十口)星野あい、藤田たき、陸田征(各二十口)(十二日現在)　右の他に尙豫約が三十九口ある。

大、坂、市、募金の一日

財務委員長　大橋豐記

此題目によると、募金運動に大阪市まで出かけた樣ですが、さうではありません。之は市川さんと坂本さんと大橋と三人の組合せをこう呼んでゐるのであります。

先日の中央委員會で決定した此三人が、或日事務所に落合ひよくく〲淺草千束町へと向ふ事になりました。

高板塀のM氏のお宅、露路を入り泉水に架けた橋を心して渡り、茶室風な座敷に通る。

場所と言ひ堅氣な商家で、婦人運動など不向なやうに感じられて氣遣ひしたのに私達の來意をちやんと呑み込んで居られて、左に言ひしぶる口をやうく〲開きかけると、疾くに承知して居りますと、何から何まで快諾で、お金も只今お持ちになりますかと用意の届いた御挨拶に本當に有難かつた。

まづ案ずるより產むが安いと安心していざおいとまといふ時に、料紙を運ばれ一同恐縮して辭退したが我まゝも申されまいとて、先づ坂本氏見事に婦選の文字を、私は名前を書いて表口に出ると、番頭さんが寫眞機を用意して待ち構へて居られるので、一同撮影して名士の光榮を荷負つて目白の校長K夫人氏のお宅に向ふ。

道が違いので約束時間より遲れて着。先來の客のために暫く待つ。此所は趣き變つた洋館立派な應接室に通されて校長さんと種々話すうちに婦選運動者の併合を說かれ、次の約束時間も過ぎたので御考へ置きを願つて表に出ると已に四時半過ぎ、市川氏は三時半からの女子青年會日本同盟の會に間に合はない。之から神田へ五時迄にと車を飛ばして××社に着き、社長がまだ在社ときいて早速坂本、市川兩氏面會、この間に私は五時頃訪問の筈であつたA夫人へ違約のお詫かたぐ〲父の會見を電話で問合せると、いつでも會ふとの事その旨を兩氏にも傳へる。

社長I氏は、仕事をする時には充實する丈の資金の必要があり、又多すぎても惰氣を生し易い故に、その調節宜しきを得よと實務家の經驗に依る注意をされ、私達の仕事も理解されて特別維持會員に署名された。忙しい時間を婦選の爲めに割いてお手傳ひ下すつた事を感謝して歸へる。

それから麻布のA夫人へと急ぐ。夜に入つての訪問にもかゝわらず表戶に待ちうけの好意を示された主の心尽しさ、日本間に洋風をとり入れた落ついた座敷に通された。坂本氏は舊知、市川氏は初對面、私には四年前に逢ふた事のあるのを覺えて居られた。●主客隔意なく且つ語り且つ論じ、冬の夜の長さに自然時の移るのも知らぬ有樣であつた。さて今日の使命に及んで第一と第二に區別して、第一は解りましたとの事、第二はと言ふと貴女方はどうして運動を續けて居られるかと、とりすがるに都合よき誘ひに力を得て、現狀を物語り助力を乞へば何も彼もよく解つて居られて快く署名され、今後とも力を添へて頂く事になつた。何所でも市川氏が持ち出す署名簿の貧弱なのに氣恥しかつたが、その紙數が次第に多くなつて行くのは嬉しい。今日の安否を氣遣ふて風氣の拔けない金子さんが淋い事務所に獨り寂しく待つて居られる筈なので、早速に電話で樣子を知らせ、丁寧なお見送りに恐縮して外に出ると寒いこと時間は七時すぎ、俄にお腹がすいた。ふと氣がついたら市川さんの十八番の忘れ物、取りに戾るのも氣まり惡く、まあ明日にでもとへつたお腹にせきたてられて事務所へと歸へりの途についた。

その後の特別維持會員

林歌子氏(大阪)守屋東氏(東京)竹內茂代氏(東京)樋村まり子氏(東京)野間きく氏(神戶)進藤甲兵氏(東京)角田重子氏(東京)富山時子氏(東京)城ノブ子氏(神戶)井上たみ氏(東京)前島ふく氏(東京)藤井松氏(東京)辻まつ子氏(東京)カフマン氏(東京)太田菊子氏(東京)清水爾氏(東京)尙右の外岡田和一郎氏(東京)は年額六十圓宛の寄附を承諾されたし、石川武美氏(東京)宮田義忠氏(名古屋)は今から毎年と契約せず、其の年々に寄附するとの御約束で今年分の寄附をいたゞいた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遊說に出づるに當りて

——ある會員にあてた手紙——

金子しげり

××さん——

汽車は今糸崎を離れて山路にかゝりました。今朝はまだ降つてゐた雨が、神戸から霽れて今は午後二時の早春らしい陽光が柔かに車窓に添つてゐます。全く以て昨日の今頃の事を考へると夢の樣です。昨日までの私は、解散のその夜以來電話と賴信紙と旅行案内にしがみついてゐました。立つが立つ迄山の樣な仕事の中に埋まつてゐた私でした。それが、今こうして人氣の少い車室に獨り默つて取り止めもなく、考へ事に耽る時間を持ち合すなんて寧ろ不思議に近い感じです。

それにしても、かうして出掛ける迄の騒ぎ、それは恐らくあなたなんか御想像もつかないと思ひます。といふのは決して事務所の人達や私達の忙しさ骨折りといふやうなものでなく——どうせ事務所も私共もいつだつて閑といふ時はないのです——特に今度の遊說の日程がこゝまで確定するまでのその困難さなのです。それも主として東京本部の私共の苦勞でなく地方の會員有志の方々の骨折なのです。かうして愈々確定地數ケ所に向けて、たゞ體を運ぶだけの私にとつては、それ〳〵の所々に待ち向けて下さる有志の方々に見ゆる嬉しさと、擔ひきれないその勞に對する感謝で、胸がいつぱいなのです。

こういつてもまだあなたの胸にはピンと來ないかも知れませんね。とにかくそれ程今度の遊說のまとめ役は、種々の難關に遭遇し幾度も難破しかけ乍ら、ある者は耐忍よくこれをまとめ、ある所は涙をのんで次の機會をまたねばならなくなつたのです。

今度に限つてなぜそんなに困難が横つてゐたか——それについては、私共でさへ事實にぶつかつて、今更の樣に考へさせられてゐる次第なのです。そしてこれはあなたなどにもぜひ知つてゐて戴きたい事なので、こんな手紙を車中でかく次第です。

選擧革正の聲を婦人側から擧げる事が時にとつて當然すぎる事であるとはあなたも私共の聲明書發表と同時にすぐ喜んでよこして下さつたのでしたが、その選擧革正も政爭に根本まで濁され盡し選擧に極度に神經過敏になつてゐる地方の人々には正しい叫びにとられないのです。

ある地方では、選擧革正はいつでも反對黨が現內閣攻擊の看板ださうで、私共のそれさへその背後に何ものか潜みはしないかと盛にさぐりが入れられ、折角出來かゝつた縣聯合婦人會の主催も、縣廳のお役人のさうした意向で、要心にしくはなしとばかり、不調に終りました。

又ある町では、婦人會の幹部連の間に政黨的對立があり、その會で兒童の愛國貯金を奬勵するのに「現內閣支持」と見られて、町の實業家側からやかましくいはれてゐる最中に私共の方の講演會の話が行つた爲に實はやりたいが、政治問題にふれる事は今困るといふ始末、それなら座談會でもと、斡旋係のXさんからいはれて、それも折柄前回の選擧に落ちて、今は再立候する某氏の緣者の幹事から、同氏の學術講演を持ち込まれ、それを斷つてごたついてゐる所だからと、これまたお斷り。その上心から婦選の必要を感じ、大に盡力する筈のTさん自身も、御主人が土地で私立學校を經營してゐる關係上、これ以上押して開かうとすればまた御主人の學校の方まで、反對派の連中に何かといはれねばならなくなるといふので、殘念乍ら身を退かねばならない所に立ち到りました。

又ある町で同じく會員Aさんの交渉をうけた土地の婦人達は、市川氏や私の名は餘り尖鋭的でいけない、同じ內容でもせめて三宅やす子氏などならとの御挨拶で、Aさん自ら、憤慨してよこしました。

やる事に纏つた所の中にも、仲々想像も出來ぬ會員有志の下掛の努力を要した處が尠くない、某市では、中心になつて働いたSさんが、敎職に在る人である爲「餘り奔走しては首が危い」とさへいはれました。元氣なSさんは飛ばせるなら飛ばして見ろと心では思つてゐる樣子乍ら、こんな一時の感情で折角初めてその土地に種を蒔く婦選をしくじつては百年の悔と、何事も胸をさすり〳〵百方盡力した樣子。

東京から出かける人々が、洋服や斷髪ではなからうかといふ、いつてみれば下らないやうな問題も地方では大問題、それで私共も和服の一揃は持參して立つたといふ次第です。そこ迄阿る必要があらうかとあなたなんかいひさうですね。現に私共もさういふ心持がしないではない。然しそんな事いつて、折角の地方有志の志が水泡に歸しては何にもなりません。私共は伸びる爲になら如何とも致しやうといふ心構へが、今は胸にみちてゐます。

一月號の婦選座談會にもあつた樣にこの前の金澤だつて、あれだけのメンタルテストをせられたのです。合格して、いよ〳〵その地に根が下りたとなれば、しめたもの。今度も金澤支部は一本の電報で事がまとまり會員が自治的に全てを取り運んでゐる樣子、聯合婦人會が後援をする事にさへなりました。初めは中々大事を取るが一度入つてしまへば後はよく燃えつき、燃えつゞくといふのは何も金澤に限らず日本の大概の地方の婦人がさうなのではないでせうか。

婦選がどんなに少しも怖いものではないかを、そしてそれがどんなに日本の婦人に必要迫つてゐるものであるかを私共は、膝を交へて語る心地で、壇に立たうと思ひます。胸をひらいて語れば響に應じるものゝある事を信じます。

婦選はまだ〳〵知られてゐない。誤解されてゐる、危險視されてゐる。普選だつてつい先達まで社會主義扱ひ危險扱ひされてゐたのですもの。まづ知らしめる爲に、私共は全力を擧げて働いて來ます。約半ヶ月家を、夫を、子を、母をのこして、私共は出かけるのです。私共の勝利を祈つて下さい。そして私共のこの願ひが純な日本の女の胸の奧に火を點じるやうに、そしてその女の手が長い間の汚れた選擧になづみ切つた男の投票を、眞の正しい清い一票にとりもどすやうに。

又今度の遊說に成功すれば、私共は、九州、四國、裏日本まで、婦選の旗を進める事が出來るのです。此度の新しい經驗は、のこる日本の各地方にまで短兵急に私共の勢力を擴めるに十分だと思ひます。どうか門出を祝つて下さい。そして全國の同志の爲に祈つて下さい。

（二月六日夜日豐線車中）

ルデイングトン女史の眼に映つた婦選同盟

京都で開かれた太平洋關係會議に出席した米國代表者に對し、香港婦人有權者聯盟が主催で先日セントフランシスホテルで歡迎茶餐會が催された際、ルデイングトン女史曰く「京都では嘸珍らしい問題が討議されるだらうと豫期してゐたが、それはちつとも新しい問題ではなくて、われ〳〵が常に論議してゐる同じ事柄ばかりであつた。

國際上の問題と國內の問題とは關係が深く、そこには殆んど違ふ線がないと自分は信じてゐる。吾々はどの問題に對しても、もう無關心ではあり得ない時代であることを適切に知つた。福利はどこまでも世界共通でなくてはならないのである。二百十八名の代表者のうち三十三人は婦人であつた。その中には専問の智識のある人は僅で、私と同じやうに、そこへ色々の智識を得る爲めに學びに來た人が多かつたやうに見えました。それは皆が沈默を守つてゐた事でもわかります。

代表者の中には四人の日本婦人、五人の支那婦人がありました。支那婦人は日本婦人のやうに地味でなくて、自尊心が非常に強いので日本婦人に比べて目に立つて見えた。（それを女史は支那婦人が選擧權を與へられてあるから日本婦人とこの相異を來たしたのだらうと說明してゐた）

さて會議が終つて、東京に於て婦選獲得同盟で、英國婦人代表のデームリツトルトン女史と共に講演を依賴されてその集會に出席して見ると先づ聽衆は婦人よりも男子が遙かに多いのには驚かされた。こゝに一ツ後で聽いて赤面したことはその集會に出席してゐる日本婦人が非常に黑ずんだ地味な服裝であつたのを見て二人共にあまりに日本婦人について無智であつた爲めに、リツトルトン女史は密かに自分にさゝやいて「この婦人の聽衆は餘程プロレタリア階級の人に違ひないから、どうも用意の演題を換へなければならない」といわれて、リ女史は日頃の學識豐な用意したスピーチをひそかに中止してしまつた。それで平常の雄辯にも似ず、平凡なスピーチをしてしまつた。自分は急に變更も出來ずそのまゝスピーチした。

ところが後で判つて私共の非常に驚いて恥ぢた事は、この私共がひそかに判斷した婦人の聽衆といふのは實は立派な智識階級の婦人で、しかも英語に堪能な前大公使夫人や、その他の外交官の夫人達、又は女子英學塾の敎授連であつたことであつた。尚この會議に出席した各國の代表者中で大分夫人や令孃を同伴せられた人も多かつたが、之は各國代表者間に立つてその友情と理解を進める上に意外の貢獻であつた」と

（週刊日米四・二・一四掲載）

事務所便り

▽一月の會報が遅れてゐたところへ二月號の婦選の編輯が重なり、又すぐ二月の會報、その上選擧權もありもしないくせに總選擧の渦卷きに卷き込まれたので、この頃の事務所の中はまるで風下に火事でも起きた樣にひつくり返へしてゐます。

▽漬物樽の金子さんは坂本さん河崎さんに先發して九州、四國、關西、信州方面の旅に、六日の夜出かけました、越後方面へ市川さんが今夜立つて行きます。

雉子も鳴かずば何とか言ふ通りよせばいゝのに「みんなるすになるので事務所の留守番に出て來た」と口をすべらせたとかすべらせなかつたとかが祟つて、自分の用で群馬縣から出て來た八木橋さんもとう〳〵ハガキ書きや封筒書きを手傳はされてゐます。

「ばゞはろくな役にも立たないでごめんなさいね」と大橋の小母さんがお土産にもつて來て下すつた出來たての酒まんじうを頰張りながら旅先へ出す印刷物の荷造りをしたり、製本屋の眞似をしたり、雑工になつたり、そのうちには居殘りの夕御飯のお米もとぐし、この分なら將來選擧事務所の二つや三つ引うけられさうです。

▽みんなが倹りよく働くから選擧がすんだらゆつくりどこかへ遊びにつれて行つて貰へさうですが、さてその費用の捻出法がいゝぢやありませんか。市川さん曰く「二等を三等にし、寢台を上にし、べんとうを一番安いのにして旅費の頭を張ればそれ位は出るわねえ」

でもいくら何でも、頭が張れる程旅費があるんだつたらせめて、靴下の踵に穴のないのでもはいて行つて貰ひたいし、泥水の入らないオーヴァーシューズだつて一足位あつてもいゝと思ひます。春先の田舍道は大變ですからね。

▽一月の會報をみて早速送つて下すつたとみえて革正運動の資金が毎日入つて來ます。會報がずゐ分よくすみからすみまでよまれてゐるらしく、小さなことまで、通信のはしに書き加へられてゐたりしますので、何だかうれしくて勇氣づけられます。

▽これが刷り上がる頃はみんな旅先、事務所は若い人達だけになります。どうぞるす見舞に御出かけ下さい。但し、來たら最後、只では歸へれないことを御承知の上で——尤も、熱い番茶に酒まんじう位は御馳走いたしますが。（二月八日事務所の鼠）

昭和五年二月十日發行
每月一回十日發行（非賣品）
編輯發行兼印刷人　市川房枝
東京麴町四ノ五
婦選獲得同盟發行
電話九段一七一九番
振替東京七〇三八三番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA